

## 外観



JR新宿駅新南エリアに直結し、高速バス・タクシー乗降場であるバスタ新宿が隣接。新たなランドマークにふさわしい洗練性と先端性を持つ景観をつくるため、外観意匠は透明感あるガラスファサードの構成となっている。

## 18F 女性トイレ 全体・小物入れ



自然光が入る大きな開口部を正面に、大便器ゾーンと洗面・パウダーゾーンが左右に分かれている。トイレ入口には、女性ワーカーから要望の高い、小物入れを用意している。

## 23F 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



洗面・パウダーコーナーには、歯みがき器(歯みがき用ボウル)と小物入れも設置。さらに、ヘアメイク用の電気製品の使用に配慮してコンセントも用意している。

## 23F 女性トイレ 大便器コーナー



大便器ブースの扉は、ブースを使用していないときは、22.5度の角度で開いており、使用状況が一目でわかる。衛生面・清掃性・節水性に配慮し、大便器は壁掛式のセンサー洗浄タイプを採用。

## 18F 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



窓から自然光が射し込む明るく開放的な洗面・パウダーコーナー。鏡裏の間接照明が、上質で落ち着いた雰囲気を出している。

## 18F 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



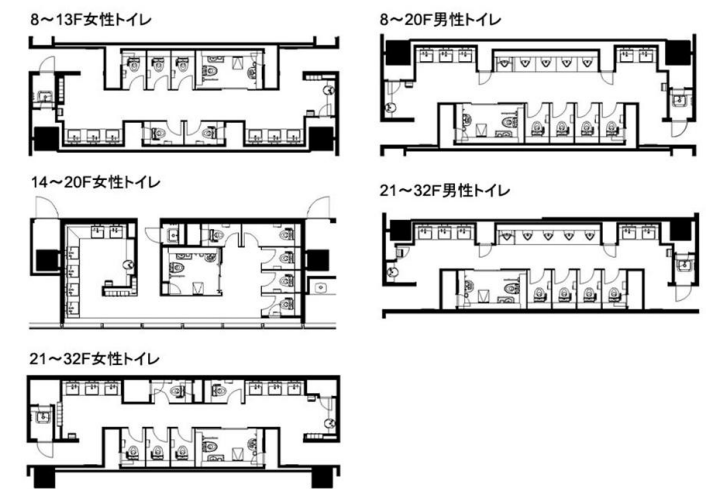
パウダーコーナーには、歯みがき器(歯みがき用ボウル)も設置。さらに、ヘアメイク用の電気製品の使用に配慮し、コンセントも用意している。

## 23F 男性トイレ 小便器コーナー



清掃性に配慮して床・壁には、防汚・防臭機能を備えたハイドロセラ・フロアとハイドロセラ・ウォールを設置。スタイリッシュな空間意匠にも寄与している。

## トイレ図面



## 18F 女性トイレ 多機能トイレ



さまざまな使用者に配慮して、男女トイレ内にそれぞれ、多機能トイレを設置。オストメイト配慮として、汚物流しとフィッティングボードも設けている。

## 18F 男性トイレ 洗面・パウダーコーナー



男性の間にも、近年身だしなみへの意識が高まっていることを受け、男性トイレにも女性トイレ同様、より快適に、心地よく使用できるように歯みがきコーナーとパウダーコーナーを設置している。

## 建築概要

名称	JR新宿ミライナタワー
所在地	東京都新宿区新宿四丁目1番6号
事業主	東日本旅客鉄道株式会社
運営管理・貸主	株式会社ジェイアール東日本ビルディング
設計	株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所
施工	大林・大成・鉄建 建設共同企業体
竣工年月	2016年3月(使用開始)

## 水まわりの特長

### <建物の特長>

JR新宿ミライナタワーは、新宿の新たなランドマークとして旧新南口駅舎跡地に建設された、地上32階建、高さ約170mの複合ビル。ルミネの新業態となる商業施設や多目的ホールなどの文化・情報発信施設等で構成され、8階から32階は、高規格なオフィスフロアとなる。駅との一体開発により、オフィスロビーへと快適にアプローチできる利便性が特色。また、日射熱負荷軽減できるダブルスキン構造や、エネルギーを効率利用する地域冷暖房、太陽光発電、屋上緑化、LED照明の全面採用など、環境に配慮した設計により、建築物総合環境性能評価である「CASBEE」のSランク認証を取得している。

### <トイレの特長>

オフィスフロアの低層階(8階~13階)、中層階(14階~20階)、高層階(21~32階)の3タイプで水まわりやエレベーターなどのコアを計画。なかでも中層階(14階~20階)の女性トイレは窓に面した開放的な空間となっている。その他全オフィスフロアトイレ共通として、木目調パネルと白を基調としたモダンで落ち着いた雰囲気のあるトイレ空間を実現。男女トイレ内に多機能トイレを各1ヶ所設け、車いす使用者やオストメイトに配慮している。その他、男女トイレとも身だしなみ配慮として、歯みがきコーナーとパウダーコーナーを設けるなど、オフィスワーカーにとって快適なリフレッシュ空間を創出している。